

ホーム名：グループホームぷも（1階）					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域交流を深める為にも、出来るだけ利用者が地域に出て、散歩や買い物、ふれあい喫茶等に参加している	「共生・自主支援・社会参加」を理念に掲げ、地域の中で共に暮らし、催しに参加するなどしながら社会参加に繋げている。職員も理念を共有している。	法人理念と共にホームの理念が玄関に掲示され、来訪者にもよく伝わる。地域密着型サービスの事業所として、今後も理念に基づき支援を実践されたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ふれあい喫茶に、毎月参加する。また地域の祭りや、イベント等にも参加する	商店街の中に立地した事業所であり、日頃から商店の利用や散歩で地域は生活に密着した場となっている。北鶴橋小学校の“いきいき学級（学童）”の児童ともクリスマス会を共に楽しんだ。	自治会に加入しており、事業所が孤立する事無く運営されている。地域と関係を深める事で、事業所の悩みなども相談できる。更に関係作りを深められたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ふれあい喫茶と運営推進会議を活用させて頂き、北鶴橋小学校のいきいき学級の児童にも参加して頂き、世代間交流を開催する		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、ご家族にはあまり参加して頂けないが、町会長などには多く参加して頂いている。また、施設の理解もして頂いている	町会の方2名・地域包括支援センター管理者・法人内小規模多機能ホーム管理者の出席で、奇数月に開催されている。現状報告・活動報告・今後の予定・連絡事項等が主な議題となっている。会議は、グループホーム・小規模多機能ホーム・特定入居施設合同での開催であり、家族の出席は無い。	家族、後見人、民生委員、ふれあい喫茶の職員また法人の理事長などにも出席をお願いし、幅広い構成で内容の濃い会議となる様今後期待したい。議事録の見直し（フォームの改善等）を図られたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	区役所や、地域包括支援センター等との連携は図れています。	地域には在日韓国・朝鮮人の方が多く住まれ、いろいろな相談事は区役所や隣接地に在る地域包括支援センターと連携しながら行われている。	生活を援助して頂いている入居者が多く、関わりが深い事からも市の担当者には運営推進会議へ出席を頂きたいものである。事業所は介護の現場であり、実際を見て頂く必要性は高い。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠については、不審者が多いので危険回避の為に施錠しています。その他身体拘束については、緊急性、切迫性等ある方は、家族の同意を頂き、拘束を行っている場合があります。しかし、身体拘束ゼロに向けて努めています	ベッドから転倒した入居者に対して、4点柵を施した例がある。道路に通じる玄関は施錠されているが、1階フロア扉は自由に入出入り出来ている。今後は玄関も開錠に向けて取り組んでいきたい、と管理者は考えている。	4点柵に関しては、職員間で話し合い、結果実施に至ったとの事。介護者の身体的負担を軽減する専門的な介護方法を学ぶなどして、身体拘束に繋がらない支援の実践に向けて努力されたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については、参考資料を閲覧できるように設置している。さらに、職員が知識を共有できるように、月1回の会議でも話し合いをしている		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>親族がいない方には、成年後見人の申請、または安心サポート等活用しています</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>行っている</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>電話でのやり取り、面会に来られた時など対応した時に、コミュニケーションを図り、要望などを聞き取り対応している。</p>	<p>運営推進会議の案内を送ったり状態を伝えるなど、家族と連絡を密にする事を心掛けている。家族からの意見や要望は余り出ない。「意見箱」の設置は無い。</p>	<p>在日の方が多いが、会話は通じる。また、韓国語を話せる職員も多い。ホームの充実を図るには意見や要望を表出して頂く事が第一となる。今後もコミュニケーションを図り、意思疎通に努められたい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>会議で意見交換を行っている。また、個別で相談等も聞いている</p>	<p>各フロアリーダーから入居者の事で寄せられる。職員からの自発的意見や要望もたまにある。職員同士の間柄も和やかになってきた、と管理者は感じている。</p>	<p>職員からのより多くの意見や要望が出る事に期待したい。管理者と職員との協力で、より一層の充実に繋がりたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務状況を把握している。また話し合いの場を設けることもしている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人には、オリエンテーションを設けている。また、包括主催の研修にも積極的に参加している</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会に、参加しており、情報交換を行っている</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>認知症を理解した上で、利用者に関わる。まずは傾聴する事。相手を理解して、信頼関係を築く</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の様子を丁寧に、家族に伝える。又それに対する要望等を聞き、何を求めているか理解し、連絡を密に行う</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者と家族の真のニーズを聞き出し、聞き出した事を包括の職員に問う、どのようなサービスが適しているか、聞き判断して頂く</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日頃、利用者同士コミュニケーションとりやすいように、職員からのアプローチを試みるようにしている</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との連絡は密に取り合い、利用者の様子を日々連絡している</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの鶴橋本通り商店街を散歩や、買物をする。また、ふれあい喫茶等地域のイベントに参加して、馴染みの関係性の構築が出来ている</p>	<p>馴染みの美容院へ継続して行かれる方もおられる。桃谷公園にも花見や散歩で訪れる。個人の要望で、大阪駅に車で出掛けたり百貨店に行く事もあった。</p>	<p>今後も思い出の場所や人との関係の継続に努め、個々の要望を出来るだけ応えてあげられるよう、心温まる支援をお願いしたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>自助、公助、共助の共助を大切に利用者同士助け合う関係性が出来ている</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も、要望があれば対応している</p>		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントを行い、ニーズに応えるように努めている	傾聴を心掛けており、話し易い環境作りを大切にしている。“ユマニチュード”の介護方法を実践する事で、職員もより丁寧に入居者と接する様になった。	入居者と目線を合わせ傾聴する事の実践で、不穏も減ったとの事。時には母国語を楽しみながら思いや意向について話をされると、より深く把握が出来るかもしれない。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	家族に聞き取り、生活歴を参考にして、サービスの向上に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	提供記録を丁寧に記録し、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一ヶ月に一回会議を開催し、利用者の変化など、今後の対応など検討して、日々の介護に努めている	各フロアリーダーとケアマネジャーで会議を開き、個人個人のニーズに沿っての介護計画作成に心掛けている。介護計画の見直しは半年毎に行い、長期目標6カ月・短期目標3ヶ月で設定している。モニタリングは1か月毎に行っている。	書類が見にくい事もあり、職員はケアプランを見ていないとの事。今後は、解かり易く提示する事で、職員も目にし共有する事を管理者は目標としている。職員が共有する事は支援するに当たって必須である。今後の取り組みに期待する。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	提供記録を丁寧に記録している。また記録を基に会議を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急搬送時や、緊急時は迅速な対応を行うと共に、家族への連絡も怠らないように努めている		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域に出て、買物をしたり自己決定して頂き、様々なニーズに応えている		
30	11	○かかりつけ医の受診診断  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化があれば、看護師に連絡し、医師へ報告している	入居者の意向に副ったかかりつけ医（4人）が往診に来られる。口腔ケアは週1回希望者に行われる。希望者には週3回訪問マッサージの先生が訪れる。	入居者それぞれのかかりつけ医の往診で適切な医療の支援がなされている。引き続きの支援をお願いしたい。

31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>日々の生活で、バイタルの変動や、表情や、体の動き、排便の状態等、些細な情報も、看護師に報告して、助言を受けて支援しています</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>病院のMSW等と、密に連絡を取り合い、必要があれば病院に足を運ぶ等して、情報交換に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医の判断で、重度化した場合、終末期を迎える利用者がいた場合は、主治医や家族等に、話し合いを持ちかけ、今後の対応を伝えて頂けるように、取り組んでいます。また、介護職員もチームケアで、迅速な対応出来る様な、体制を整えている</p>	<p>この1年で3人の方の看取りがなされた。「重度化した場合に於ける対応に係る指針」があり、医師や訪問看護師との連携で看取りがなされた。医療連繋加算はとっていない。生野区グループホーム連絡会による“看取り研修”に参加し、より良い支援に活かしている。</p>	<p>入居者も一緒にお別れをし、お見送りした時もあったとの事。職員の温かい気持ちは亡くなられた方や家族にも十分伝わっていた事と思う。これからも、重度化した場合や終末期に於いて心のこもった支援をお願いしたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時には、すぐに看護師に連絡する様にしています。訓練は行えていない</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練は、行えているが地域の協力体制は築けていない</p>	<p>年2回、消防訓練を行っている。直近では8月5日、法人隣接事業所と共に1階調理場からの出火を想定し、職員中心で訓練を行った。防火管理者は法人の職員が担当している。事業所内に於ける災害備蓄品は整っていない。</p>	<p>地震時の対応の仕方や入居者の避難についても、更なる訓練をお願いしたい。災害備蓄品については、事業所内で再度検討されたい。</p>

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>定期的に行っている会議で、話し合いを行っている</p>	<p>「敬語週間」を設定し、後にアンケートにより振り返りの時を持った。話をする時は近い距離からまっすぐ視線を合わせた対応を心掛けている。それに馴染まない人にはベンチポジションで並んで対応するなど、一人ひとりを大切に心掛けています</p>	<p>“ユマニチュード”の介護方法を取り入れ、実践に心掛けています。更なる工夫と研鑽を願う。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>自己決定出来るように、提供している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人一人の、強みを引き出し自立支援にも、努めている</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>髪の毛を染めたり、ご希望があれば対応させて頂いている</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や後片付けが出来る人には、行って頂けるように支援しています</p>	<p>料理は皆の口に合った韓国家庭料理を毎食一品は作る様になっている。調理専門の職員が月～土曜日、3ユニット分を1階で調理し、2階・3階へ配る。以前、日曜日は入居者と共に料理を作っていたが、今は弁当を取り寄せている。</p>	<p>月1回はビビンバやとり鍋、魚チゲなど豪華な食事を楽しんでいる。今後も入居者の要望等を取り入れながら、食事が楽しみな時間となる様引き続きの支援をされたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分量は、記録に残しており、記録を参考にして、支援に努めています</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後と、就寝前に口腔ケアを行っており、毎週火曜日には、訪問歯科が来る</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>声掛けをして、出来るだけトイレで排泄が出来るように、努めている</p>	<p>一人ひとりのサービス提供記録に状態を表す印で記録し、職員間で共有し支援を行っている。</p>	<p>今後も尊厳を重んじた支援で、適切な排泄が行われるよう努められたい。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便の有無が、分りやすいように、排便チェック表を使用している。便秘があれば、下剤を服用して頂く等、看護師や医師との連携を図って支援している</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>予定表はあるが、利用者のその日の希望に合わせて、毎日入浴の準備が出来るように、努めています</p>	<p>1階には座りながら入れる機械浴槽が設置され、現在2名の方が利用している。1人週3回の入浴で、一日2～3人、10時からと1時から3時の間に一人づつ入浴している。同性介助を原則としている。オーバーフローで常にきれいな湯にしている。</p>	<p>入浴剤の使用や、脱衣場の冬の暖房・夏のクーラーなど快適に入浴出来る様に気を配っている。今後も安全に気を付け、入居者と1対1で過ごせる貴重な時間を楽しみながら支援して頂きたい。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>室温、環境整備、等に心掛けている。就寝時間も、利用者の希望に合わせている</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>医師、薬剤師、看護師と連携し、また与薬者、準備者、確認者と服薬する際に、ダブルチェックも行い、服薬の支援に努めている</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人一人の生活歴等が把握しやすいように、フェイスシートを設置している。生活歴や日頃の会話からニーズを引き出し、実現出来るように努めている</p>		
49	18 <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>真夏や真冬は、外出を控えるが、利用者の希望があれば、外出支援にも努めている</p>	<p>1対1で、コリアンタウンや商店街・コンビニエンスストア等へ買い物に出掛けている。車で入居者10名・職員4名で大阪城へ行ったりもした。桃谷公園へ弁当持参で、花見を楽しんだ。</p>	<p>日常的に散歩や買い物に出掛けている様子が伺えた。商店街に立地し、馴染みの場所でもある。今後も支援の継続を願う。秋の行楽も考えてみられたい。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いが、欲しい利用者には、ご希望された日に、手渡してスタッフ同行し、買い物支援に努めている</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>あらかじめ、家族に了承を得てから、家族のご負担にならないように支援している</p>		
52	19 <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地良く、環境整備や清潔に保てるように、努めている。また清掃等、出来る利用者には、励んで頂いている</p>	<p>入居者が利用しやすい動線に対応した家具の配置がとられている。車椅子の方が多い1階は四角いテーブルが横一列に並び、2階・3階は丸いテーブルを配し、ソファ等を置き自由に寛げる場所も確保されている。</p>	<p>1階に於いては、リビングの装飾にもう少しの工夫を感じた。大人の寛ぎの場としての装飾を考えてみられたい。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになったり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>椅子やテーブルを配置して、一人ひとりの座る場所が決まっている</p>		
54	20 <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にいる物は出来るだけ置けるように、対応している。利用者の住みやすい環境作りに努めている</p>	<p>テレビ・こたつ・アイロン・オーブントースター・ポット等自室に置き、自分らしい居室を作り上げている。また、家族の写真やお気に入りの芸能人グループの写真を貼る部屋もあり、各々の部屋作りとなっている。</p>	<p>晴れている日は布団も窓枠に干され、衛生にも気が配られている。電化製品は本人任せでなく、常日頃から注意を払う様にして頂きたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立支援に努めていて、利用者の出来ることは、継続して励んで頂き、認知症の進行を防ぐように努めている</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない